

国際交流シェアハウスやどかり

NPO 法人 Oneself

NPO×シェアハウス

神戸で日本語を学ぶ留学生や技能実習生に安心して安全な生活をしてもらうことを目的に2015年7月にオープン。約800㎡の大型シェアハウス。館内には日本語教室が併設されており、滞在者はいつでも学習ルームで日本語学習をすることができます。

来日したばかりの留学生や技能実習生は日本の生活ルールやマナーをほとんど知りません。交通機関の利用方法、自転車の乗り方、ごみの捨て方など生活におけるあらゆるサポートを行っています。またシェアハウスには日本人スタッフが24時間常駐しており、体調不良等の急なトラブルにも迅速に対応します。



1995年阪神大震災を経験した神戸だからこそ、来日する留学生や技能実習生に対する防災教育は必須だと考えています。消防団や消防署、防災教育に取り組む高校や大学とも連携し、防災訓練を行っています。



神戸×シェアハウス

旅館業×シェアハウス



シェアハウスとしてはめずらしい旅館業法簡易宿舍業を取得しております。2019年ワールドカップラグビーではアメリカやロシアのサポーターが滞在。留学生がスタジアムまでの交通機関を案内したり、神戸のおすすめスポットを教えたり、日々の生活では体験できない交流も国際交流シェアハウスやどかりの強みです。

大学×シェアハウス

2018年「しんかいち国際保健室」をオープン。病院に行くほどではないけれど体のことが少し心配、日本に来てから生理痛がひどくなった等「ちょっと聞いてほしい」そんな悩みを気軽に話せる保健室を神戸常盤大学保健科学部看護学科と連携し開催。技能実習生入国後講習で受け入れた技能実習生にも企業派遣後の体と心のケアができるようにしています。

地域×シェアハウス

ガールスカウトや子ども食堂、婦人会等の地縁団体と連携し留学生や技能実習生との交流を定期的に行っています。



-国籍を問わず誰もが安心して暮らせ、お互いの文化や習慣を尊重できる「多文化共生」社会を目指します-